

**■大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館 昭和 100 年/終戦 80 年企画■**
**企画展「田辺聖子が生きた 1945 年 6 月 / 1945 年 8 月」を開催**
**【第 1 弾】会期:2025(令和 7)年 6 月 3 日(火)～6 月 30 日(月)**
**【第 2 弾】会期:2025(令和 7)年 8 月 1 日(金)～8 月 30 日(土)**
**会場:田辺聖子文学館**

大阪樟蔭女子大学（大阪府東大阪市菱屋西）は、田辺聖子文学館の開館記念日（6 月 10 日）にあわせて、昭和 100 年 / 終戦 80 年企画として、【第 1 弾】6 月 3 日（火）～6 月 30 日（月）、【第 2 弾】8 月 1 日（金）～8 月 30 日（土）に、田辺聖子文学館にて、昭和 100 年 / 終戦 80 年の企画展「田辺聖子が生きた 1945 年 6 月 / 1945 年 8 月」を開催します。

**本件のポイント**

- 田辺聖子さんが書き続ける、少女時代に経験した〈戦争〉とその後の〈戦後〉
- 田辺聖子さん没後に再発見された終戦前後の日記『田辺聖子 十八歳の日の記録』(文藝春秋 2021) は、同時期に関する貴重な史料
- 田辺聖子さんが終戦前後の時期に在学した大阪樟蔭女子大学での開催

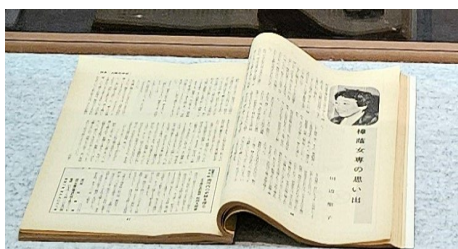
**■田辺聖子が作家として書き続けてきた、少女時代に経験した〈戦争〉とその後〈戦後〉について**

「昭和三年生れの私は、生涯のほとんどを過した〈昭和時代〉に強い思い入れがある」(『おかあさん疲れたよ』あとがき)という田辺聖子(1928-2019)は、作家として、少女時代に経験した〈戦争〉とその後の〈戦後〉について書き続けてきました。さらに没後に再発見されて『田辺聖子 十八歳の日の記録』(文藝春秋 2021)として刊行された終戦前後の日記は、同時期に関する貴重な史料となっています。

本展では、『田辺聖子 十八歳の日の記録』に刻まれた 1945 年 6 月 1 日の大阪大空襲と同 8 月 15 日の終戦を中心に、1945 年 6 月および 8 月の日記内容に関連する田辺聖子の作品を、6 月と 8 月の二期に分けて展示します。同日記が書かれた時期は、田辺聖子が樟蔭女子専門学校に在学した時期と重なり、本展をこの地(大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館)で開催する意義は大きいと思われます。是非、この機会にご来館下さい。



「おかあさん疲れたよ」スクラップブック



「樟蔭女專の思い出」(『大阪春秋』1967.12)



直筆原稿「歴史」(大阪文学学校時代の習作)

**田辺聖子文学館 企画展「田辺聖子が生きた 1945 年 6 月 / 1945 年 8 月」**
**■日 時:【第 1 弾】2025 (令和 7) 年 6 月 3 日 (火) ～6 月 30 日 (月) 9:00～16:30**
**【第 2 弾】2025 (令和 7) 年 8 月 1 日 (金) ～8 月 30 日 (土) 9:00～16:30**
**■休館日: 日曜・祝日・大学の休業日 ※8.13 (水) ～17 (日) 休館**
**■場 所: 大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館 (大阪府東大阪市菱屋西 4-2-26)**
**■入場料: 無料 ▼大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館ウェブサイト**
<https://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp/events/20230107.php>
**【学芸員によるギャラリートーク(展示解説)】※予約不要**
**■日 時: 2025 (令和 7) 年 6 月 10 日 (火)・8 月 12 日 (火) 各日 13:30～14:30 (受付 13:00～)**

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材・掲載のご検討をよろしくお願い申し上げます。

＜本リリースに関するお問合せ先＞ 学校法人樟蔭学園 学園広報課 (担当: 服部・高田)

TEL: 06-6723-8152 (直通) (平日 9 時～17 時) FAX: 06-6723-8263

E-mail: [gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp](mailto:gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp)